

平成二十二年後期日程 入学試験問題

小論文 B

人文学部 社会科学科

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ② 解答は、解答用紙の指定の欄に縦書きで記入しなさい。解答用紙(その一)には問一、問二の解答を、解答用紙(その二)には問三の解答を記入すること。
- ③ 受験番号は、解答用紙(その一)(その二)の指定の欄に記入しなさい。

次の文章を読んで、問一、問二、問三に答えなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については，著作権の処理が未完了のため，公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については，著作権の処理が未完了のため，公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完のため、公開できません。

平野龍一「何のために法律を学ぶのか」(東北大学法学会『法学』第七〇巻第一号、二〇〇六年、八五〜九八頁。一部略)

問一 著者は、傍線部①で「法律とか社会的な現象を取り扱うもの場合には、決して答えというのとは一つではなく、いろいろな答えがありうるわけです。」「そうしたいろんな答えにも、それぞれやはり理由があるわけです」と述べているが、著者の用いた例のなかから一つを用いて、「いろんな答えがありうる」こと、及び「それぞれやはり理由がある」ことを説明しなさい。(二五〇字以内)

問二 著者は、傍線部②で「法律というのは常にディシジョンをしなくてはいけないという特色がありますが、そのディシジョンを他の場合にも適用しても差し支えないだろうかということ念頭に置きながらしなければいけない」と述べているが、何故、著者はそう考えるのか、説明しなさい。(二五〇字以内)

問三 傍線部③で著者のいう「法学を勉強したことの意味」とは何かを説明した上で、それに対するあなたの賛否を理由とともに述べなさい。(三〇〇字以内)